



令和5年10月
志比田こども園

10月の園だより

朝夕すっかり涼しくなり、過ごしやすい季節になりました。園の一大行事であります運動会を目前に控え、最後の追い込みに頑張っている子ども達です。

一年で一番過ごしやすいこの時期は、子どもたちにとっても意欲的に活動できる時期です。子どもたちの意欲を大切にしながら、心と体を大きく育てたいと思います。

～今月の行事予定～

7日(土)	運動会(小松原中学校体育館) ※ 9時～12時の予定です		
10日(火)	木育(ひまわり)	18日(水)	みんなであそぼう
12日(木)	避難訓練	20日(金)	消防ひろば(ひまわり)
13日(金)	芋掘り(さくら・ひまわり) お弁当の日	27日(金)	誕生会
21日(土)・22日(日)		小松原地区まつり 作品展示	
23日・30日(月)		英語教室(ひまわり)	
11日・18日・25日(水)		音楽教室(すみれ・さくら・ひまわり)	
5日・19日(木)		体操教室(すみれ・さくら・ひまわり)	



お知らせ・お願い

- 今月より  お弁当の日 が始まります。
- 送迎時、駐車場が混み合いますので 長時間の駐車 はご遠慮ください。また、玄関が混み合う際は 外でお待ちください。
- お迎え時、正門から駐車場へ駆け出してしまう子どもさん が見られます。大変危険ですので、子どもさんから目を離さないよう(子どもさんと手をつないで) お願いします。

キレない子ども・集中力のある子どもに育つ

脳をきたえる「じゃれつき遊び」



じゃれつき遊びはいつでもどこでもできます。遊園地よりも楽しいのです。なぜなら大好きなお母さん、お父さんが遊びの相手をしてくれるからです。テレビゲームのように受け身ではなく、相手する人と心を合わせて主体的に遊びを創造していくからです。

この主体的な活動こそ、子どもの能力を育てていくのです。

脳をきたえる「じゃれつき遊び」より

脳と運動の関係

脳は使うことで働きが維持されます。脳を使うというのは、いわゆる知的な使い方と、運動的な使い方のふたつの意味があります。運動的な使い方というのはあまり知られていませんが、脳を維持している筋肉を使うことで、その刺激が自然に脳に信号を送って、脳を活性化させていくということです。それがないと脳は委縮してしまいます。

幼児期は、脳も体も急速に発達していく時期です。だからこそ、子どものときほど、運動をさせなければならないのです。鬼ごっこや縄跳びなど、体を動かす遊びには、多様な動きが含まれています。特定のスポーツを続けるよりも、いろいろな動きを獲得するのに効果的なのです。

小さいときから、転んじゃいけない、すり傷をつけたら大変だ、という子育てをしてしまうと、子どもは筋肉の発達のうえでもどんどん弱くなっていきます。体を動かして遊ぶことの楽しさを伝え、ワクワクやドキドキを通して、カラダ力をアップさせましょう。

「0歳児から5歳児行動の意味とその対応」より

遊びとはなんでしょう

- 楽しいからやるのです。
- 楽しいから熱中するのです。
- 楽しいから工夫を重ね、努力するのです。



楽しむことを目的とした行動や行為が「遊び」で、名誉や権力や利益をねらえば、それは「遊び」ではありません。

遊びであるためには

- ・ 自分が「しよう」と思って始め、自分で準備をし、自分で活動し、自分が後始末すること。(自発・自主)
- ・ 自分なりの動き方ができて楽しめること。(自由な工夫)
- ・ その遊びの決まりを守ること。(ルール)



決まりきった技能(わざ)を繰り返し繰り返し練習させるのは遊びではなく、訓練と言えます。

「体育あそび200選」より